

HiPeR 主催 愛媛ワークショップ

「四国外帯の地質構造と東アジアの中生代プレート収斂境界のテクトニクス」のご案内

協力：応用地質株式会社四国支社

● 7月28日 10:00～12:30 ミニシンポジウム

会場：愛媛大学 S12 講義室

<http://www.sci.ehime-u.ac.jp/access.html>

(地図を拡大すると「理学部講義棟」が確認できます)

講演：

- 1) 10:00-10:25 早坂康隆 (広島大)：四国外帯の地体構造と東アジアプレート収斂境界のテクトニクス
- 2) 10:25-10:50 大橋聖和 (山口大)：四国西部四万十帯北帯に発達する断層帯の形成過程と周辺地体構造
- 3) 10:50-11:15 川口健太 (広島大)：三波川帯北縁部の変斑れい岩類は三波川沈み込み帯の hanging wall か
- 4) 11:15-11:40 小松正幸 (愛媛大)：四国西部三波川帯南翼の“中央構造線”
- 5) 11:40-12:05 鶴我佳代子 (東京海洋大)：宇和海、浅海における地震探査の期待と課題
- 6) 12:05-12:30 伊藤谷生 (明治大)：ルートマップ+岩石資料データ (密度、P 波速度) による地震波トレース作成

昼食は各自弁当をご用意下さい。

昼食後、車に分乗して八幡浜へ向かいます。

13:30～17:00、現地討論会と簡易弾性波測定装置 (ハンディサイズ) を用いた地震波速度の測定

場所：八幡浜港南方の諏訪崎海岸の露頭

岩相：三波川結晶片岩類

● 7月29日 9:00～14:00 現地討論会と簡易弾性波測定装置 (ハンディサイズ) を用いた地震波速度の測定

場所：八幡浜から三瓶にかけての道路沿いと海岸の露頭

岩相：御荷帯の結晶片岩と角閃岩、真穴帯の白垂系、花崗岩・斑れい岩ブロックなど

参加は自由です。

参加希望者は下記世話人までご連絡下さい。

28日の宿は八幡浜駅近くのニューホテルトヨ (TEL: 0894-23-1414) で、まだ余裕があります。

世話人：早坂康隆

広島大学大学院理学研究科地球惑星システム学専攻

TEL: 082-424-7462 e-mail: hayasaka@hiroshima-u.ac.jp